



FAPGA & WPCF出張報告2017

アジア印刷会議

世界印刷会議

+ 香港国際印刷・包装展

2017年7月26日

(一社)日本印刷産業連合会

常務理事 杉村 亥一郎

常務理事 小野 隆弘

広報部部長 石橋 邦夫

『香港国際印刷・包装展』

2017年4月27日—30日

会場：ASIA WORLD EXPO（香港空港隣接）

主催：香港貿易発展局（香港政府の貿易振興機構）と
CIEC（中国国際貿易促進委員会傘下の展示会主催会社）との共催

展示会概要

- 一般印刷と包装関連の製品、サービス、ソリューションの サプライヤーが出展のアジア最大級の展示会
- 2016年 430社 96の国と地域から14400人のバイヤーが来場
今年は15500人、日本からは、170人の来場者
- 欧米の高級消費財向けパッケージが主流



『香港ギフト&プレミアム・フェア』

2017年4月27日－30日

会場：香港エキシビション&コンベンションセンター

主催：香港貿易発展局

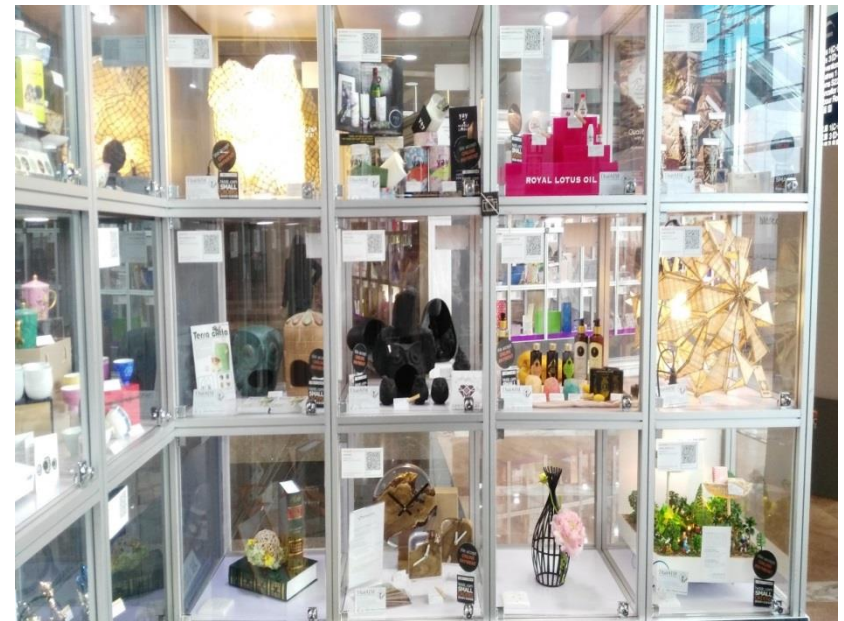
展示会概要

- 世界最大規模のギフトショー

47000人が来場 日本からも1000人以上が訪問

- クリスマス商戦に向けての仕込みの場として活用

- 日本製品の「安心」「安全」の“品質力”とデザイン力に支持を集める





香港について

グローバル スーパーコネクター

InvestHK

100社以上の航空会社により、一日につき**1,100**以上のフライトが香港国際空港と世界**190**の空港（中国本土の**47**空港を含む）の間を就航

航空貨物取扱量世界第一位：2015年取扱量 **438万トン**



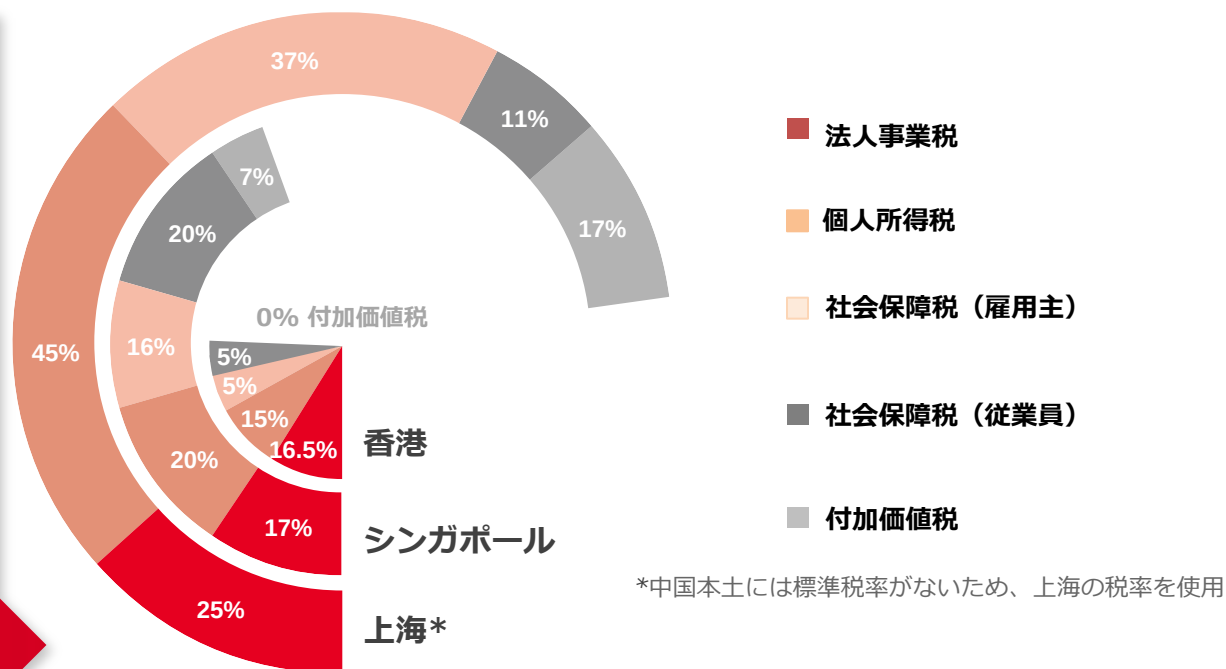
アジアの主要市場まで
4時間以内のフライト
で到達



世界の人口の半分を
5時間以内のフライト
で網羅

アジア
の中心

低率で シンプルな 税制度



32カ国と二重課税防止協定を締結

- ・ 付加価値税/消費税/売上税 なし
- ・ キャピタルゲイン課税 なし
- ・ 投資に対する源泉徴収税 なし
- ・ 相続税 なし
- ・ 全世界所得課税 なし
- ・ ワイン税 なし



14カ国と交渉中

一国二制度

InvestHK



B-to-C

(企業-消費者間取引)

2015年
富裕層(HNWIs)
香港に142,000人
(2009年比281%増)



アジア太平洋地区に

510万人

2015年
渡航者数
5,930万人



中国本土から

4,580万人

84%



の世界の
高級ブランド
が香港に

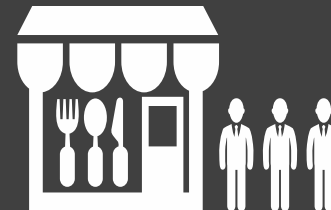
売上

US\$630億

レストラン数

400人につき

1軒



小売市場の現況

InvestHK

- 2014年末から**小売市場**の勢いが弱まる
- **中国本土からの渡航者数** 及び**一人あたりの消費額**が減少
- **高級ブランド**及び **観光客**を対象とした商品・サービス・企画が減少
- **中級ブランド**及び飲食業等の**必需品**はあまり影響を受けていない
- 2014年第3四半期より、**一等地の路面店賃料**が20-30% 下落し、商機を創出

HONG KONG BOOK FAIR
READING THE WORLD • LOVE AT FIRST BOOK

香港ブックフェア2017のご紹介

香港貿易發展局 東京事務所

HKTDC
Hong Kong Book Fair
香港書展

19-25/7/2017



香港ブックフェア概要

- アジア地域における読書習慣推進による文化生活の向上を目的とした書籍・出版業界向けのプラットフォーム
- アジアを中心とする世界各国の出版社、作家、エージェントを対象に、広報・販売・相互交流の機会を提供
- 2014年は来場者が100万人を突破、香港最大級のB2Cフェアで、HKTDC主催展示会では最大規模
- 過去5年間の実績:

年度	出展者数	来場者数
2016 (7日間)	640	1,020,000
2015 (7日間)	580	1,001,000
2014 (7日間)	570	1,010,000
2013 (7日間)	560	980,000
2012 (6.5日間)	535	900,000

 **Hong Kong Book Fair**
香港書展

19-25/7/2017



- 訪日外客数が2015年で1,973万人を超える
- 香港からの訪日旅行者数

2012年
481,665人

2013年
745,800人

2014年
925,900人

2015年
1,524,300人

※香港総人口:723万人

■ 香港人旅行者の特徴

- ①香港人の4.7人に1人が日本に来ている
- ②訪日旅行率が世界で一番高い
*20%以上が10回以上訪日経験
- ③個人旅行比率も同様に高い
- ④LCC,鉄道,レンタカー等で自由に地方への旅行を楽しむ

出典:「日本政府観光局(JNTO)」

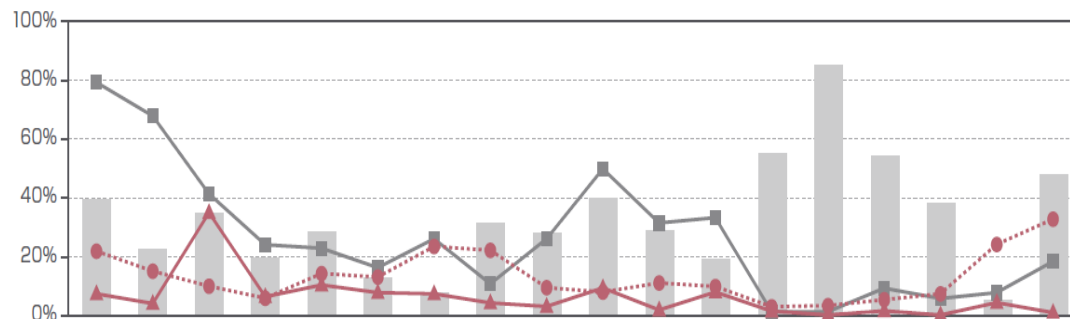
Hong Kong Book Fair
香港書展

19-25/7/2017



よく見るマンガ・アニメ

※ソウル:「国内のマンガ・アニメ」と「韓国のマンガ・アニメ」は同一データ。以降同様



<香港>

日本:79.3%
香港:39.4%
欧米:21.9%
韓国:7.4%
*複数回答

<台湾>

日本:67.9%
台湾:22.4%
欧米:15.1%
韓国:4.1%
*複数回答

香港での日本のマンガ・アニメの受容度は、アジア地域で一番高いのがわかる。

『Global HABIT(博報堂
2015年版)』

HKTDC
Hong Kong Book Fair
香港書展

19-25/7/2017



ジャパン・パビリオン 日本館 Japanese Pavilion

- 2014 年からジャパン・パビリオンが結成
- 2014年は出展者数5社(72m²)に対し、2016年は出展者数14社(333m²)
- 出展者14社のうち、9地域の自治体に参加
- 2016年は日本政府観光局(JNTO)らが初出展



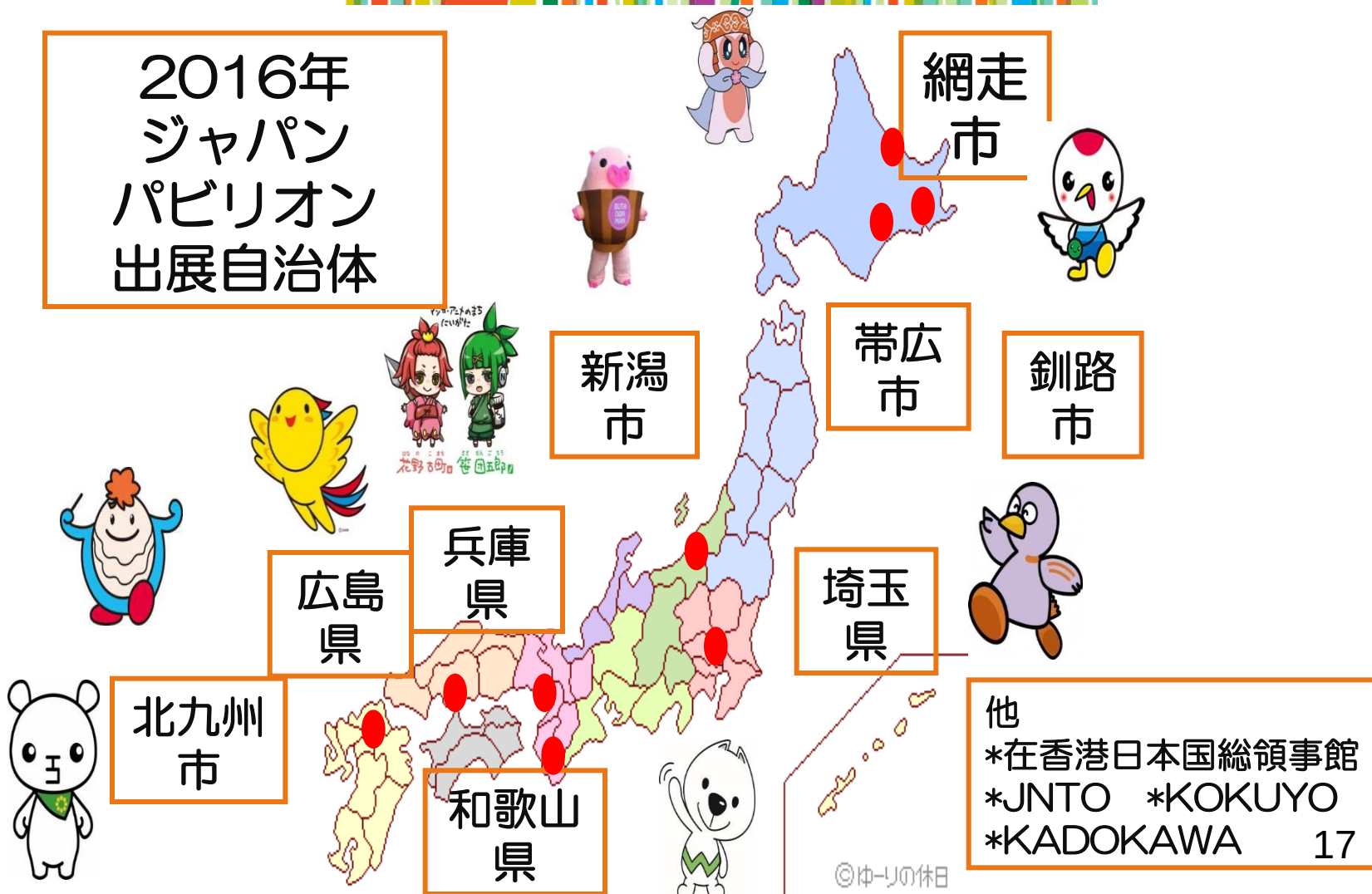


Hong Kong Book Fair

香港書展

19-25/7/2017

2016年
ジャパン
パビリオン
出展自治体





Hong Kong Book Fair

香港書展

19-25/7/2017



埼玉県

らき☆すた等、埼玉にゆかりのあるアニメや漫画の展示やグッズの販売、そして川越、秩父、長瀬等の埼玉県内の観光紹介を行う。週末はクレヨンしんちゃんの記念撮影会を実施。



兵庫県

鉄腕アトムパネルや鉄人28号パネル等兵庫県にゆかりのある漫画家手塚治虫氏や横山光輝氏の作品展示や観光案内を行う。鉄人28号ぬりえ体験イベントもブース内行う。





Hong Kong Book Fair
香港書展

19-25/7/2017



和歌山県

香港でも人気の和歌山電鐵貴志川線のたま駅長、2代目駅長二たまの展示から和歌山の食から観光スポットの紹介。真田丸にちなんだ甲冑体験や浴衣着付体験も実施。



広島県

広島日本香港協会主導で、県内の観光情報提供から特産品、工芸品の紹介をした。他にも、けん玉体験や実際に自転車を使用したしまなみ海道のサイクリング体験エリアを設けた。



日本の地方創生とインバウンド需要

地場有力産業である、
印刷業界の役割と、
香港のコラボレーションの
可能性を感じました。



FAPGA²⁰¹⁷

FORUM OF ASIA PACIFIC GRAPHIC ARTS



2017 FORUM PROGRAM

23 - 25 MAY 2017 | MELBOURNE, AUSTRALIA

FAPGA (Forum of Asia Pacific Graphic Arts) アジア印刷会議の概要

・FAPGAの目的

メンバー国間での印刷・コミュニケーション産業の市場、関連技術動向、ベストプラクティスに関する意見・情報の交換を行い、アジア・パシフィック地域における印刷・コミュニケーション産業の発展を目指す。

・FAPGAの歴史

1996年にアジア地域における印刷産業発展と協力関係構築のために、JAGAT(日本印刷技術協会)が中心となり設立したFAGAT(Forum of Asia Pacific Graphic Arts Technology)が母体。

2013年よりFAPGA (Forum of Asia Pacific Graphic Arts)に名称変更。

日印産連は第10回(2008年マニラ)からオブザーバー参加し、第11回(2009年東京)においてJAGATとの交代を発表。第12回以降は日印産連が日本の正式代表になる。

・加盟国

Australia, China, India, Japan, Korea, Malaysia, Philippines, Thailand, Singapore
Sri-Lanka, New Zealand, Nepal

(アクティブな参加国: オーストラリア、中国、インド、日本、マレーシア、フィリピン)
各国が持ち回りでホストカントリーとなり、FAPGA会合を開催する。

ニュージーランドとネパールが今年からFAPGAに加わる。

・今までの開催都市

2016年は中国の上海で、2017年はオーストラリアのメルボルンで開催された。
2108年はIGASの開催に合わせ、FAPGAを日本の東京で開催することが決定。

	開催年月	開催地		開催年月	開催地
第1回FAGAT	96年9月	東京(日本)	第10回	08年9月	マニラ(フィリッピン)
第2回	97年10月	ソウル(韓国)	第11回	09年10月	東京(日本)
第3回	98年10月	バンコク(タイ)	第12回	11年5月	シドニー(オーストラリア)
第4回	99年10月	北京(中国)	第13回FAPGA	13年2月	ニューデリー(インド)
第5回	00年9月	マニラ(フィリッピン)	第14回	14年11月	上海(中国)
第6回	02年11月	シンガポール	第15回	15年8月	クアラルンプール(マレーシア)
第7回	04年3月	クアラルンプール(マレーシア)	第16回	16年10月	上海(中国)
第8回	06年8月	コロンボ(スリランカ)	第17回	17年5月	メルボルン(オーストラリア)
第9回	07年6月	北京(中国)			

・FAPGA 2018東京開催プラン

- IGAS期間中(7/26～)、ビッグサイトの会議棟にて、FAPGA参加国による各国の印刷業界の報告(Country Report)を中心としたカンファレンスの開催。
- 日印産連主催 4大コンクール、シール組合主催 シールコンテスト等、印刷作品をIGASで展示し、日本の印刷業界の広がりを紹介する。etc.

FAPGA (Forum of Asia Pacific Graphic Arts) アジア印刷会議 2017の概要

【開催国】 オーストラリア メルボルン 2017年5月23日～25日

【参加国】 豪、中、日、ネパール、フィリピン、ニュージーランド

【会議】

- ・各国の印刷業界状況報告 (Country Report)
- ・議長、事務局長選任 (議長: Peter S Lane氏 豪)
- ・次回開催国の決定 2018年7月 日本 / 東京

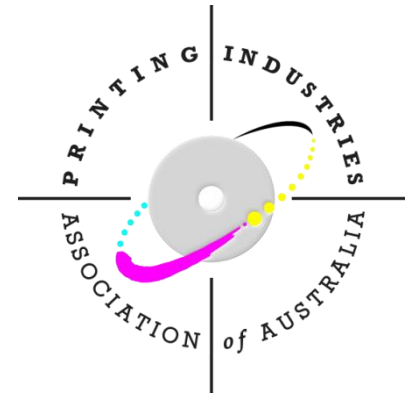
【視察等】

- ・PacPrint (印刷機材展)
- ・PacPrint-Forum (セミナー)



オーストラリアの印刷産業の概要

- ・出荷額: 80億豪ドル(約7000億円 1豪ドル=87.5円)
- ・従業員数: 13.2万人
- ・企業数: 5,615社
- ・オーストラリアでは**製造業において最大の雇用数**を誇る
- ・年間設備投資金額: 10億ドル(約875億円)

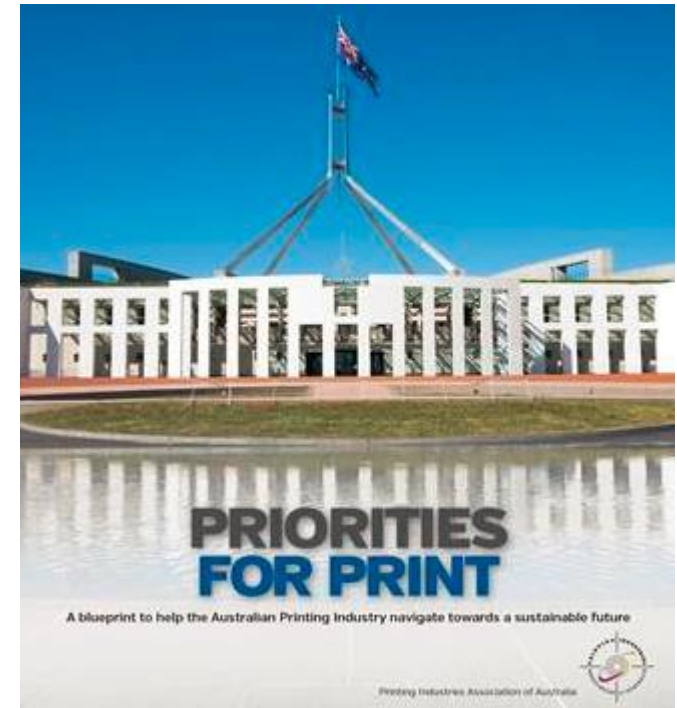


PIAA(Printing Industries Association of Australia)の活動概要

1. 業界の声をとりまとめ行政や政治に反映させる
Priority for Printによる業界意見のとりまとめ
2. 業界の構造改革推進のためのプロジェクト(**政府予算によるプロジェクト**)
Future Print Business Transformation Project (個別印刷会社の業態分析と将来的な方向性のアドバイスの提示)
Future Print (就業教育制度)
3. 労働関連のアドバイス及び法律相談
4. ネットワーキング及び各種の行事
印刷機材展(PacPrint)、National Print Awards、地域ごとでの会合などによる
ネットワーキング、教育イベントなど
5. 環境認証
Sustainable Green Print制度
6. 各種ビジネスサポート
保険、電話、インターネット、エネルギーなどの団体契約による割引

Priority for Printの主要ポイント:

- ・構造改革への支援
- ・イノベーションの促進
- ・資金調達の改善
- ・政府の印刷物調達制度への要望
- ・環境認証の推進
- ・エネルギー価格への要望
- ・人材教育
- ・労働環境の改善
- ・海外人材の確保
- ・効率的な郵便制度の確立
- ・ゾンビ企業の排除(会社更生法により
不公平な価格競争力を持った企業による低単価受注の排除)
- ・税制改革
- ・無駄な規制の排除



<https://www.piaa.org.au/who-we-are/priorities-for-print-main.html>

Future Print Business Transformation Project

印刷会社の経営課題を抽出し、必要な変化への戦略を提示するプログラム。
2015年より政府からの資金援助で開始。

benchmarking.com社のサービスを活用し、同業他社とのベンチマーキング比較を行うとともに、その結果をもとに分析(診断)を行う。

これによって以下のポイントを明確化するとともに、アドバイザーによる各種のアドバイスを提供して業態変革の推進を行う。

- ・強みと弱み明確化
- ・他社や他の業界から学べる点の明確化
- ・顧客のニーズ(求めていること)の明確化
- ・どうすれば顧客を満足させられるかの明確化
- ・ある変化がどのような影響を及ぼすかの明確化
- ・プラスの影響を与えるために何をしなくてはならないかの明確化
- ・そのためにはどのような人材が必要かの明確化
- ・そのために必要な人材育成の方法

https://www.piaa.org.au/verve/_resources/134229_FUTURE_PRINT_Transformation_4pp_A5_Brochure_V2.pdf

ニュージーランドの印刷産業概要

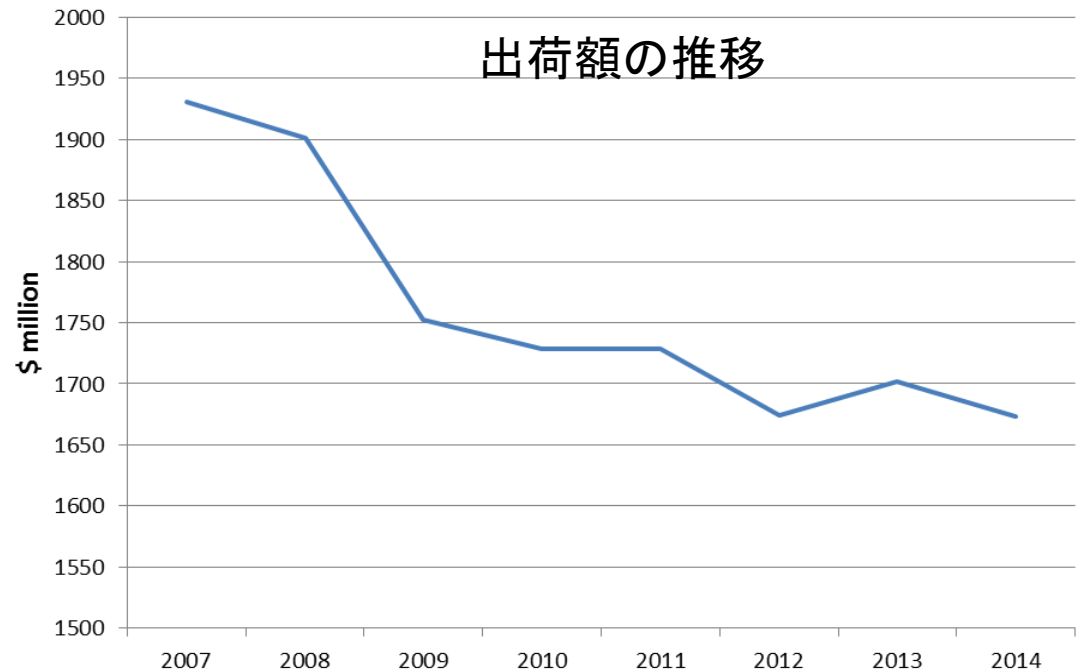
出荷額: N\$16億 (約1317億円 N\$1.00=82.3円)

従業員数: 9,400人

企業数: 1,290 社

1社あたり平均人数: 8名

(人口 470万人、GDP 1618億ドル)



ニュージーランド印刷連合会 Print NZの概要

会員数： 510 社

主な活動：

- ・医療、安全、雇用、取引条件などに関する業務サポート
- ・各種の会員割引
- ・業界動向調査やベンチマーク指標の調査
- ・政府機関に対する働きかけ(ロビー活動)
- ・教育プログラムの構築とトレーニングの提供
- ・オーストラリアと共同で「印刷の価値」推進プログラム
Value of Paper and Print および Two Sides

NZ印刷業界の成長機会：

- ・顧客に提供する製品・サービスの多様化
- ・パッケージ・ラベル分野
- ・サイン・ディスプレイ
- ・新製品、新技術の開発
- ・類似する産業への進出
- ・プリントの良さのプロモーション(信頼性が高く、長持ちし、効果的で、環境にもやさしく、革新的で、感情に訴える)

フィリピン印刷産業の概要

- ・企業数: 1,692社 (製造業の6.2%)
- ・出荷額: 342億ペソ (763億円 1ペソ=2.23円)
2014年

(人口 1億人、GDP 2720億ドル)

- ・60%は資本金が平均50万ペソ(111.5万円)程度、35%が500-1000万ペソ(1115 - 2230万円)、5000万ペソ(1.115億円)以上は5%程度。
- ・多くの小規模企業は印刷機1-2台。
- ・オフセットが全体の85%で、グラビア、フレキソ、スクリーン、デジタル印刷が残りの15%を占める。
- ・オフセット印刷を行っている企業の内53%は小規模(資本金500万ペソ、従業員30名以下)、35%は中規模(資本金1000万ペソ以上、従業員30名以上)、12%が大規模(資本金1億ペソ以上、従業員100名以上)

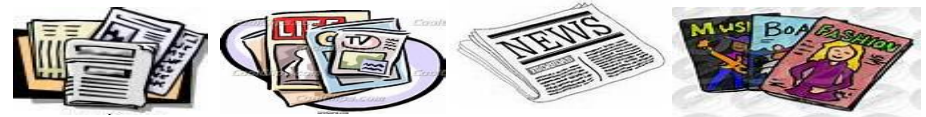


Mr Dominador D Buhain

Vice President,

Philippine Printing Technical Foundation

- ・出版分野が出荷額全体の60%を占める
この分野の企業は書籍、雑誌、新聞、定期刊行物、パンフレットなどの数多くのコミュニケーション製品を提供している。
- ・新聞と定期刊行物を取り扱っている企業は全体の6%程度。
- ・書籍を扱っている企業は約30%で、市場が成長しており将来性も高い。



- ・商印分野は15%で、このグループの企業は政府機関の発注物や、広告物、ポスター、事務所や学校の伝票、グリーティングカードなどの小中ロットの商業印刷物を主に扱っている。使用するのは小型の印刷機が中心。
- ・産業用、パッケージ、ラベル印刷分野は25%
生産ロットは小中ロットで、製造業と密接にかかわっている点が、他の分野と異なる。



人材と教育投資

- ・フィリッピンは英語のできる人材に恵まれているが、しっかりとした印刷に関する教育機関の欠如と、海外での高待遇にひかれて多くの人材が流出し、印刷業界では人材の不足をきたしている。中国やシンガポールに比べフィリッピンではしっかりとした印刷教育の体制が確立できていない。
調査によると75%の企業で、従業員は正式な教育を受けておらず、正式な教育を受けているのは13%、さらに12%は正式および非正規の教育の効果を得ていると回答している。

競争力強化のアクションプラン

- ・印刷および出版分野への需要は多い(特に海外から)
- ・しかしフィリッピン企業は最新技術や人材教育への投資余力がなく、この市場を手にすることができてこなかった。
設備投資により生産能力を上げコストを下げ、厳しい競争環境に打ち勝っていかななくてはならない。これは新しい技術に投資し、従業員の教育と給与体系を見直すことによって実現可能である。
その他の革新的なソリューションは、印刷工程の標準化、サービスや技術の専門化、顧客の教育、従業員や経営者の価値の転換などがある。

PacPrint2017概要

- ・オーストラリア最大の印刷機材展で、前回は2013年に開催
- ・会場はメルボルン・コンベンション&エキジビション・センターで5/23-27の5日間開催
- ・約8千平米のスペースに約150社が出展し、開催期間中に約1.2万人が来場した
- ・今回からサイネージやディスプレイの展示会であるVisual Impact Expoとも同時開催となった
- ・出展社で最大規模はCurrie Group(HP、ホリゾン、Cronなどを取り扱う大手印刷機材代理店)+HPのブースで、富士フイルム+富士ゼロックス、コニカミノルタ、リコー、Starleaton(Epson、Zund、EFIなどを取り扱う印刷機材代理店)、キヤノンなどがそれに続く大きさの出展を行っている



今回のPacPrintの注目点

1. オフセット印刷を行う企業が集約化されていく？

展示会でオフセット印刷機の実機を出展したのはRMGT(リョービMHI)だけで、それ以外のベンダーによる出展はなかった。これは今後オフセット印刷機を導入するのは、既に印刷機を持っている印刷会社が中心で、展示会での新規の顧客開拓の見込みが少なく、それよりもショールームなどでの実機のデモに力を入れているためと思われる。PacPrintに出展していた印刷通販の会社によると、オーストラリアでは都心部の中小印刷会社が自社のオフセット印刷機を廃棄し、それに代わりデジタル印刷機やラージフォーマットのプリンターを設置、オフセット印刷は印刷通販業者に委託するケース増えているという。



2. サイン&グラフィックスの市場は大きい？

ラージフォーマット機の出展が多く、その製品も大型から超大型まで幅広い。またテキストスタイルに対応しているプリンターやカッティングプロッターも数多く、オーストラリアにおける大型サイン&グラフィックスの市場が大きいことが伺われる。またサイン&ディスプレイ市場向けに、各種の素材を提供するベンダーもいくつも見られた。

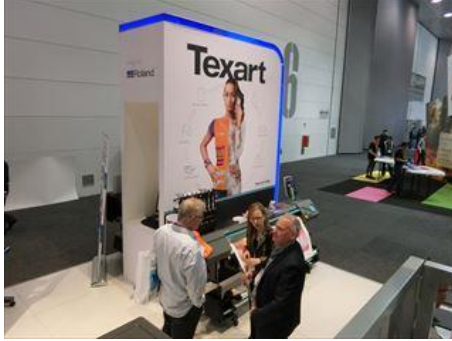
昨年のドルッパで発表されたPOP作成用の超大型3DプリンターMassivit1800も展示されており、既にオーストラリアに2台設置されている。採用しているのはPOPなどを主体にしている印刷会社といわれている。

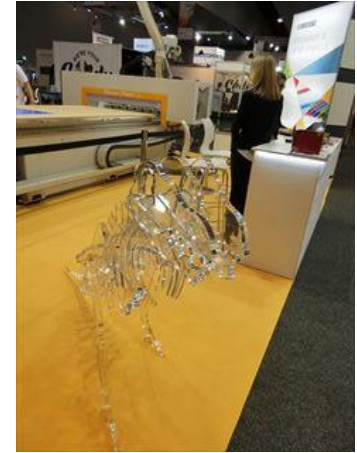


サイン・ディスプレイ用の素材



Massivit1800





3. ラベル用のプリンターが多数出展

小型機から大型機まで幅広い製品が出展されており、この分野におけるデジタル印刷の普及が進んでいることが分かる。Info Trendsなどの調査でもパッケージ分野でのデジタル印刷はラベル分野が圧倒的に多い。(2016年で約43億ドルの市場の8割程度がラベル分野)



4. デジタルプレス関連

HP、富士フイルム・富士ゼロックス、スクリーン、コニカミノルタ、リコー、キヤノンといった大手は全て大きなブースを構えており、各社とも最先端の製品を出展していた。ただし、オーストラリアは人口が2400万人程度ということもあり、HP Pagewidth Pressに代表されるような超高速・大量処理の製品は各社とも出展していなかった。また最近よく見かける印刷から製本までのインラインのデモも少なかった。



5.印刷通販

オーストラリアでも印刷通販が普及してきており、日本同様に印刷会社が利用するケースも多い。設備の効率的な活用から、自社ではオフセット印刷機を持たずに、印刷通販会社にすべて委託する中小印刷会社が増えている。そのほかディスプレイ関連を中心としたW2Pの会社も出展。

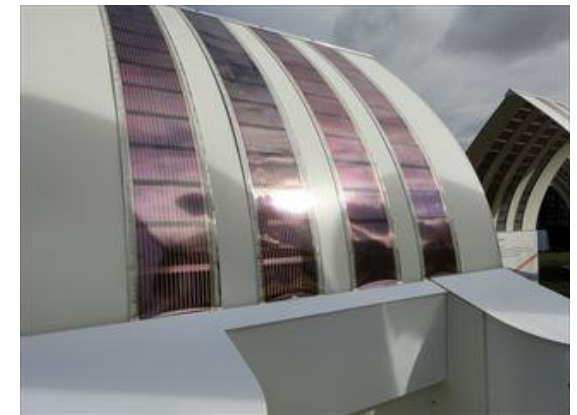


ディスプレイ関連のW2Pサービスを提供する
Vivad社 (<https://www.vivad.com.au/>)



6. 新技術への取り組み

- ・大学によるプリンティッドエレクトロニクスプロジェクト
印刷方式による太陽光電池の試作（低コストの太陽電池製造を目指している）
- ・3Dプリンターの展示
汎用の3Dプリンターや、その作品展示も多く見られた





upcof

HOME ABOUT US NEWS MEMBERS PHOTO GALLERY CONTACT US

Welcome to the World Print and Communication Forum!

The World Print & Communication Forum is a collaborative platform for the world's major transnational and national printing associations to work together to promote the development and prosperity of the global printing industry. WPCF also facilitates and encourages communication with other parts of the print value chain to further develop the print and communication market through international and cross-industry collaboration and knowledge sharing.

Latest News



JOIN US IN COPENHAGEN FOR THE 3RD ANNUAL PRINT MATTERS FOR THE FUTURE CONFERENCE!
20/02/2017

The WPCF and Intergraf, the European Association for Print & Digital Communication, will meet each other...



WPCF MEETS IN 2016 SEOUL CONGRESS
24/02/2016

The World Print & Communication Forum (WPCF) met in August 2016 in Seoul for a Congress hosted by the Korean Printing Association in Seoul for 4 days...



FEDERATION OF MASTER PRINTERS
2016/01/01

Representing more than 200,000 printers, will be considered to be the world's largest association of...

WPCF (World Print & Communication Forum) 世界印刷会議 2017の概要

【開催国】 デンマーク コペンハーゲン 2017年6月8日～10日

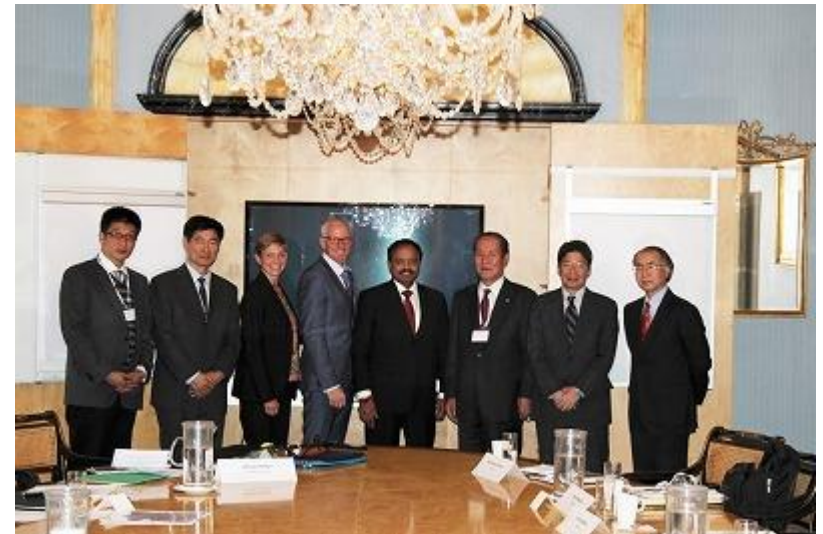
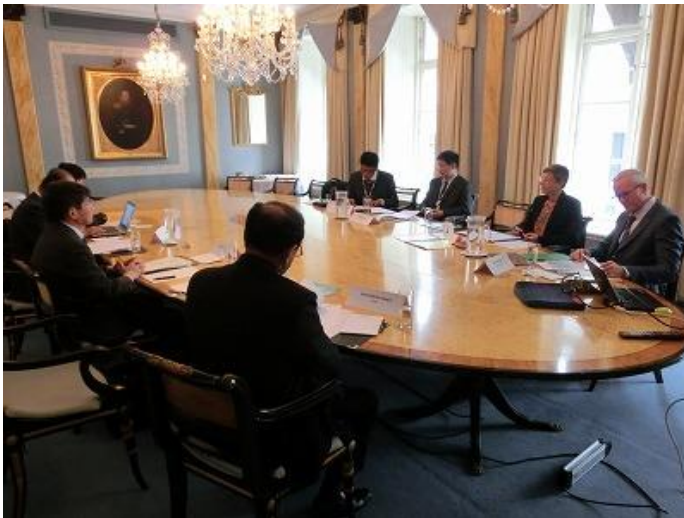
【参加国】 日、米、欧(Intergraf)、中、韓、印 (豪、香港、ブラジルは欠席)

【会議】

- ・各国の印刷業界状況報告
- ・出版市場動向の現状に関する報告
- ・次回開催国の決定 2018年10月 中国/上海 (第7回All-in-Print China同時開催)

【セミナー】

- ・Intergraf & WPCF Conference : Print Matters for the Future



Board Meeting 各国の概況に関するコメント

インド Kamal Chopra氏

印刷会社は25万社あり、業界は順調に成長している。書籍もまだ増加しており、パッケージ分野も順調ではあるが、業界内での価格競争は厳しい。印刷通販の普及はまだ進んでいない。大手印刷会社としてはThompson、Tetrapak、Jet Printerなどがある。

米国 Michael Makin氏

2015年から2016年にかけて米国の印刷業界は順調に成長。すべてのセグメントで成長しており、書籍でも1.5%の増加となった。若者が本を読むようになり、書籍の数は電子書籍を上回っている。ワイドフォーマットやパッケージは順調に伸びており、印刷会社の提供するサービスもビデオ、広告、ウェブ、3Dプリンティングなど幅が広がっている。業界としては将来に明るい見通しを持っているが、若い人材の採用では苦戦している。

欧州 Beatrice Klose氏

欧州では国ごとにより状況が異なるが、独・英などを中心に順調。独ではプリント広告が3年連続で増加。3Dプリンターの印刷業界への導入はあまり進んでいないが、フランスの印刷会社ではPOP作成用に大型3Dプリンターを導入している。2016年にパッケージ印刷が商印分野を超え、雑誌が書籍を下回ったのは2010年。一部の国では熟練工の確保に苦心しており、多くの国では若い世代の採用に苦労している。

中国印刷産業の概要

企業数: 100,300社
従業員数: 317万人
出荷額: 1.12兆元 (18.8兆円 1元=16.8円)
利益額: 724.5億元 (1.22兆円)
成長率: 8.2%(2015/2014)
輸出(直接及び間接含む): 864.9億元 (1.45兆円)
7.7%

GDPに占める割合: 1.66%

・分野別ではパッケージ分野が8400億元(14.1兆円 全体の75%)と圧倒的に大きく、成長率も4.2%ある。出版は1740億元(2.92兆円 15.5%)で成長率は0.6%

・5か年計画で中国印刷産業を2020年までに1.4兆元(23.5兆円)に伸ばしていく

The Innovation, Integration
and Development of Printing
Industry in China



中国印刷産業の業態変化

- ・印刷会社の集約化

年商5000万元(8.4億円)以上の企業は2010年の2,147社から、2015年には3,247社に増え、この3,247社(全体の3%)が出荷額の54.1%(6080億元≒10.2兆円)、利益の65.7%(460億元≒7,730億円)を占めている。

- ・出版分野は横ばい、パッケージ分野は依然成長が続く
特に高付加価値パッケージ製品にフォーカス。

- ・最先端技術の導入

CTPの設置は15,000台、デジタルプレスは10,000台を超えている。

- ・2016年にはデジタル印刷機関連の輸入金額が枚葉オフセット印刷機の種類を超えて輸入品目のトップに立った。

- ・中国の印刷関連機器の出荷額は400億元(6,720億円)で、成長が続いている

ハイデルベルグ社のポストプレス部門を買収したMasterwork Tianjin を初めてして、有力企業としてはBeiren(北人), Founder(方正), Huaguang(乐凯华光印刷科技有限公司), Gronhi, CRON,などが挙げられる。

新しい市場の開拓

- ・インターネット、デジタル化、スマートファクトリー、ビッグデータの活用などが運用コストを大幅に下げることが可能にした。 ネットによる印刷通販も普及してきており、現在約300社がある。
- ・RFIDやARを日々の仕事に活用している印刷会社も出てきている
先端的な印刷会社であるArtronは、デジタル化とビッグデータの活用によりアートと教育分野において新しいビジネスモデルを構築している。

Artron Home News About Us Products and Services Technology and Equipment Contact Us

Products and Services



Graphic Arts
Giclee+

Book Sales



Products and Services



Graphic Arts
Giclee+
Duplication
E-books
Book Sales
ARTRON Art portal

ARTRON Art portal

About ARTRON.net

Artron.net, founded in October 2000, is recognized as the world's leading Chinese art website.

日米欧の出版市場の動向比較

1. 出版市場の動向

日： 雑誌、書籍とも減少が続き、特に雑誌の落ち込みが激しい (Fig1)

米： 雑誌 (periodical) 市場は減少が続き、2007年と2016年の比較では40.4%減。書籍の落ち込みは、雑誌よりは少なく25.9% (Fig2)

欧： 新規タイトル数は2006年の約47.5万タイトルから、2015年の約58万タイトルに増加。(ただし1タイトルごとのロットは減少が続く) 2010年に雑誌が書籍を下回った。

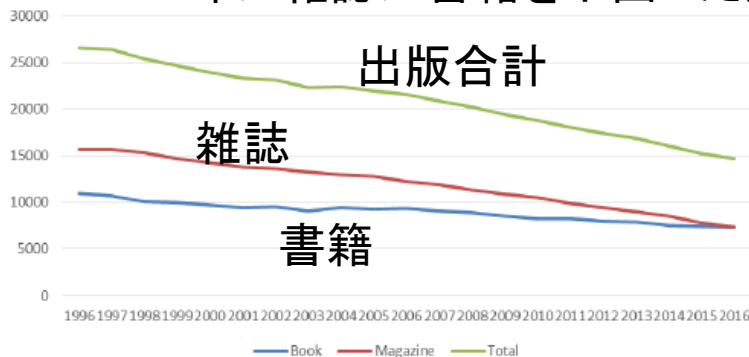
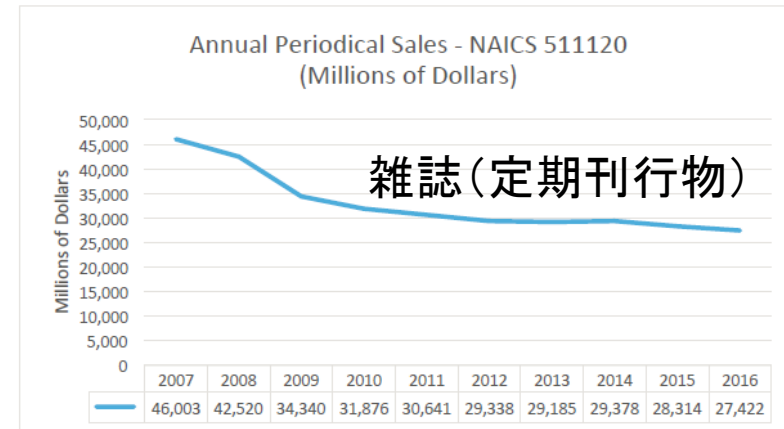
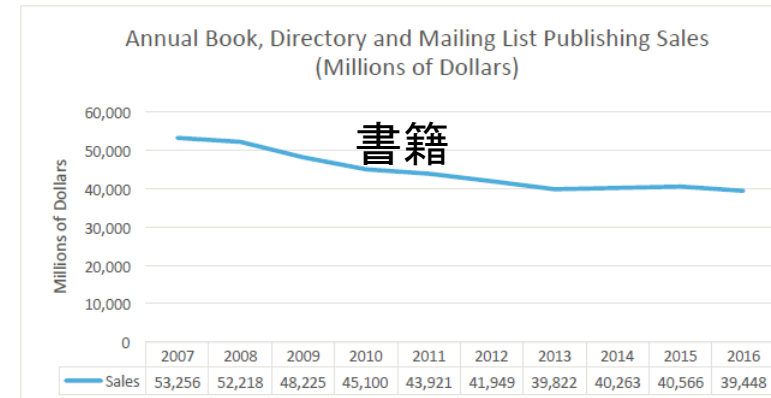


Fig1. 日本の出版市場 (単位: 億円)



Source: U.S. Census Bureaus Quarterly Services Survey



Source: U.S. Census Bureaus Quarterly Services Survey

Fig2. 米国の出版市場 (単位: 百万ドル)

2. 出版関連印刷市場の動向

- 日： 2007年以降急激な減少が続く (Fig3)
 米： 2007年から2009年にかけて急激な減少
 近年は減少速度がかなり落ちて横ばい (Fig4)
 欧： 雑誌は継続して減少しているが、書籍は横ばい傾向 (Fig5)

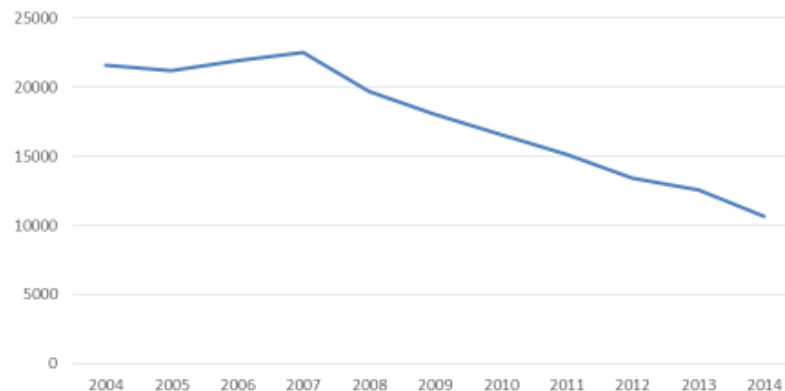
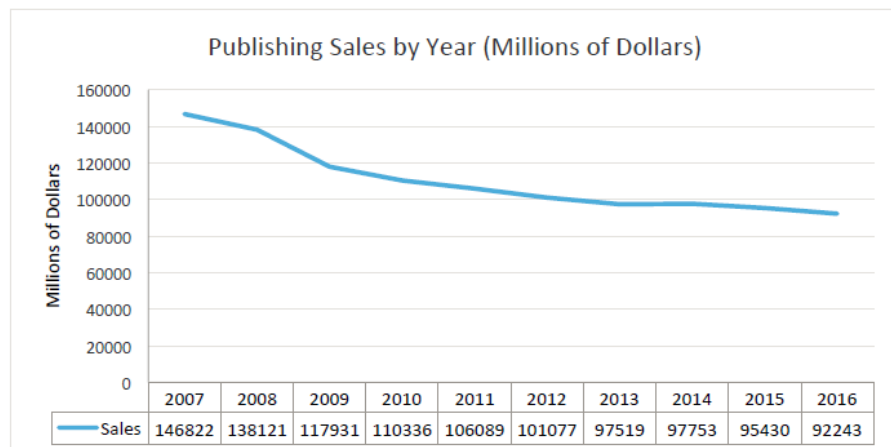


Fig3. 日本の出版印刷市場(単位: 億円)



Source: U.S. Census Bureaus Quarterly Services Survey

Fig4. 米国の出版印刷市場(単位: 百万ドル)

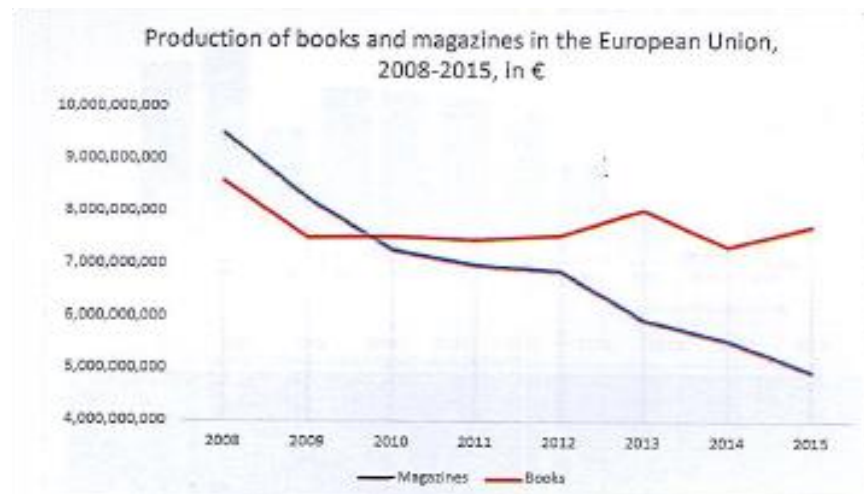


Fig5. 欧州の出版印刷市場(単位: 百万ユーロ)

3. 書籍分野におけるデジタル印刷の状況

日： デジタル印刷の70%はデータプリント関連で、書籍分野での利用はまだ限られている (Fig6)

米： 出版分野におけるデジタル印刷の市場規模のデータはないが、米国では書籍分野でデジタル印刷は幅広く活用されている。特にLightning Sourceに代表されるようオンデマンド印刷が増えている。

欧： 書籍分野でのデジタル印刷は欧州でも普及してきており、プリント枚数では2020年には全体の5.1% (2015年の約2倍)、出荷額ベースでは49.4%を占めると予測されている。書籍の印刷方式で、増加が見込まれるのはトナー方式とインクジェット方式のみで、それ以外の方式はすべて減少すると予測されている。(Fig7, 8)



Fig7. 欧州の2020年のデジタル印刷 枚数 & 出荷額予想

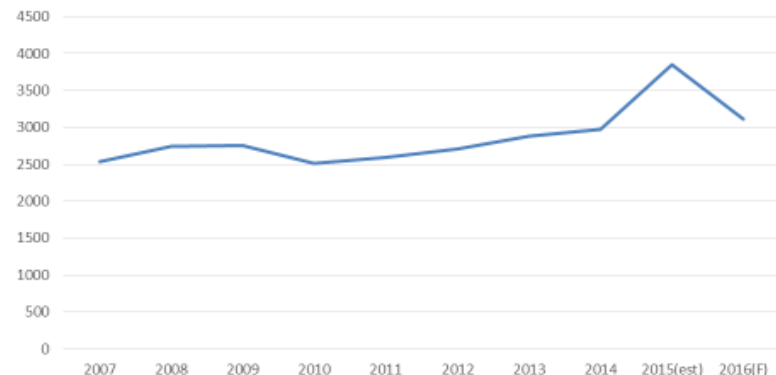


Fig6. 日本のデジタル印刷市場(億円)

FIGURE 2: European Book Printing Output by Process, 2010-2020f
(€ million, current prices & exchange rates)

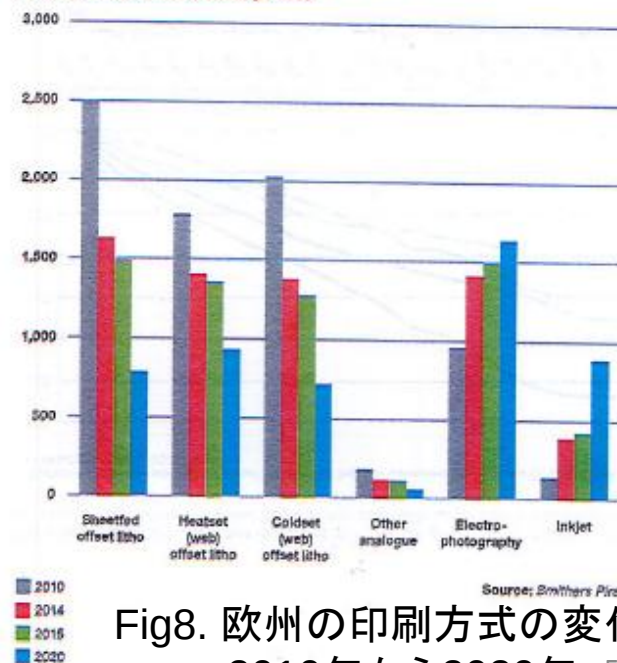


Fig8. 欧州の印刷方式の変化
2010年から2020年 50

4. 電子書籍の動向

日： 電子書籍の市場がようやく立ち上がってきた。
2015年の実績で約8割がコミック。ドコモのdマガジンに代表される読み放題サービスが普及の後押しをしている。(Fig9)

米： 電子書籍は既にそれなりの普及をみたが、近年はその伸びが鈍化してきている。(Fig10)

欧： 欧州の電子書籍市場は最近になって立ち上がってきたが、その普及の度合いがここ1, 2年鈍りだしてきた。現在の市場シェアは約6-7%で、英国が11.5%と高いのに対して仏、スペインが3%、独・伊が4.5%と国による違いがある。(Fig11)

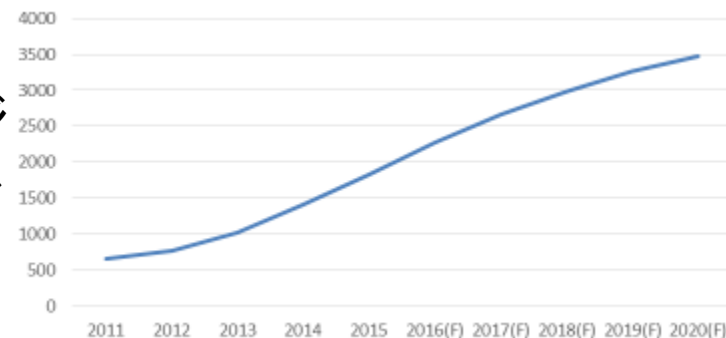


Fig9. 日本の電子書籍市場(億円)

Source: Penguin Random House

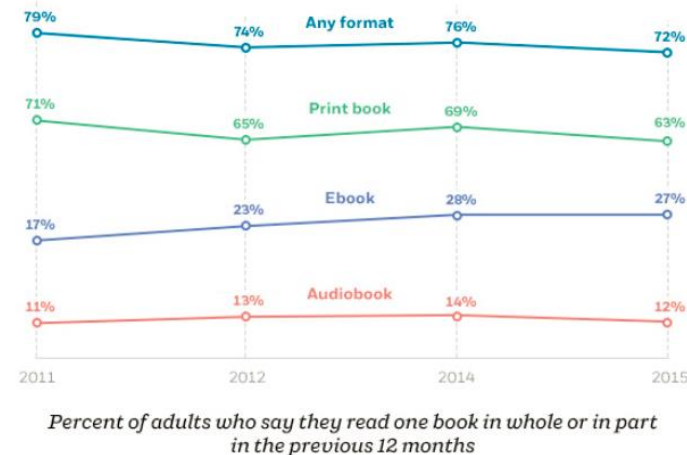


Fig10. 過去12か月で読んだ本のフォーマット(米国)

E-book share of the book market in the EU, 2011/2016

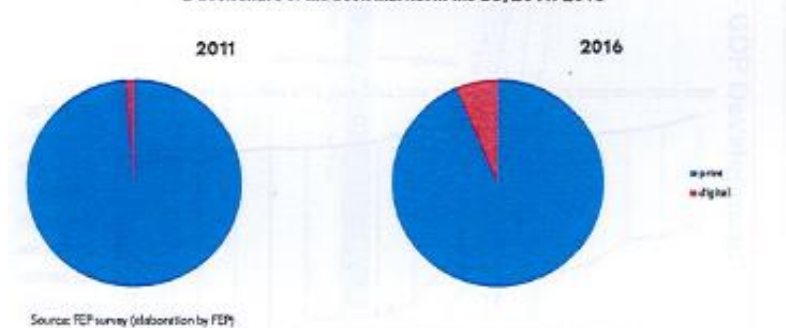


Fig11. 欧州の電子書籍のシェア2011vs2016

日米欧の出版市場の動向比較サマリー

1. 日本では2016年に雑誌が書籍を下回ったが、欧州では2010年から、米国ではそれ以前から雑誌が書籍を下回っている。
2. 日米ともに書籍の落ち込みは雑誌と比べるとかなり低い。
3. 出版関連印刷市場は日米欧共に減少傾向
4. 出版分野のデジタル印刷に関しては、日本ではまだ一部に限定されているのに対して、米国や欧州はかなり普及が進んでいる。特に欧州では2020年には全体の5.1% (2015年の約2倍)、出荷額ベースでは49.4%を占めると予測されている。
5. 米国に比べて普及の遅れている日欧の電子出版市場はようやく立ち上がってきた。一方、いち早く普及の進んだ米国では、最近では電子書籍市場の頭打ちが見えてきた。欧州においては、英国で電子書籍に普及が高い(11.5%)のに対して仏、スペインはかなり低い(3.5%)

Intergrafとの合同セミナー



AGENDA

- | | |
|-------------|--|
| 10:00-10:15 | Opening of conference: Moderators Cees Verweij (<i>President of Intergraf</i>)
Michael Makin, (<i>President of the WPCF</i>) |
| 10:15-10:45 | The Danish printing industry: Thomas Torp, <i>Director of Grakom (DK)</i> |
| 10:45-11:15 | Company Case Study: Wilhelm Soll, <i>Managing Director of PrintPlanet (DE)</i> |
| 11:15-11:45 | COFFEE BREAK |
| 11:45-12:15 | Europe's slow and uneven recovery: Las Olsen, <i>Chief Economist at Danske Bank (DK)</i> |
| 12:15-12:45 | Consumer preferences: Andrew Lima, <i>Researcher at Leeds Beckett University (UK)</i> |
| 12:45-14:00 | LUNCH |
| 14:00-14:30 | Print's role in the communications mix: Dominic Lyle, <i>Director General of the European Association of Communication Agencies (Europe)</i> |
| 14:30-15:30 | Expert Panel: Preparing for the future of print: Moderator Håvard Grjotheim, <i>President & CEO of O7 Group (NO)</i> <ul style="list-style-type: none"> • Søren Henriksen, <i>Stibo Printing Solutions (Scandinavia)</i> • Ulrich Stetter, <i>Druckhaus Main Franken (DE)</i> • Wilhelm Soll, <i>PrintPlanet (DE)</i> • Anders Juel, <i>Superego (DK)</i> |
| 15:30-16:00 | COFFEE BREAK |
| 16:00-16:30 | Internet on things: Simon Biltcliffe, <i>CEO of Webmart (UK)</i> |
| 16:30-16:45 | Closing of conference: Moderators Cees Verweij (<i>President of Intergraf</i>)
Michael Makin, (<i>President of WPCF</i>) |

デンマークの印刷産業

デンマークの印刷連合会 Grakom の概要

会員数: 650社

主な活動:

1. ビジネス、法務、環境面での会員に対する各種サービス・サポート
2. 知識・情報の提供とネットワーキング
3. 政府・行政機関に対する働きかけ

(人口 570万人、GDP 3,429億ドル)



デンマークの印刷業界が直面した危機

- ・金融危機： 景気の落ち込みと金融の引き締め
- ・海外からの競合： 価格低下、生産の減少への圧力の高まり
- ・デジタル製品への置き換え： 印刷物の需要減少

新しい現実への対応

- ・企業統合が引き続き継続： 企業数は減少したが、より規模の大きい会社生まれる
→ 規模の経済による収益性の改善
- ・イノベーション： 新しい製品とサービス。一部の会社では広告代理店機能や出版機能を取り込んだり、ラベル、サイン、ラージフォーマット、パッケージなどの新規分野への進出などを行っている。
→ 新規需要の開拓
- ・海外進出： 海外の販売拠点や製造拠点を設けて海外市場の開拓を進める
→ 地理的市場の拡大
- ・業界全体の動向としては依然オーバーキャパシティが解消されず、先行きの見通しはまだネガティブ。
- ・市場の収縮が何年も続いた結果、個々の企業の状況にばらつきが出てきた。収益性は依然と厳しいものの、一部には改善の兆しを見せる会社が増えてきた。
- ・生産量の落ち込みの一方、生産性の向上もあり従業員数は減少している。

印刷・メディア産業の市場規模

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
印刷製造 デザイン プリプレス 印刷 新聞印刷 製本	Graphic production	1,488	1,501	1,434	1,407	1,461	1,474	1,434
	Communications design and graphic design	188	214	241	255	281	295	295
	Pre-press and pre-media services	94	94	94	80	80	80	67
	Other printing	885	871	804	764	818	804	777
	Printing of newspapers	94	94	80	80	67	67	54
	Binding and related services	54	54	54	54	40	40	40
広告関連 広告代理店 その他 メディア表現	Advertising	2,319	2,359	2,279	2,185	2,198	2,279	2,373
	Advertising agencies	1,568	1,515	1,448	1,354	1,327	1,220	1,273
	Other advertising activities	295	268	268	255	201	228	241
	Media representation	469	576	563	590	670	831	844
Total		3,807	3,860	3,713	3,592	3,659	3,753	3,807

単位: 100万ユーロ(約1.3億円)

プリントメディア出荷額(単位: 百万ユーロ≒1.3億円)

		2011	2012	2013	2014	2015	2016
書籍・冊子 新聞 定期刊行物	Books and leaflets	117	107	114	115	105	107
	Newspapers	172	169	150	138	138	129
	Journals	228	218	204	182	178	196
広告関連 その他 ラベル	Advertising print	323	308	296	277	271	245
	Other	164	103	60	59	63	62
	Labels	147	142	149	154	155	155
Total		1,150	1,050	973	928	910	894

書籍の落ち込みはあまり大きくはないが、新聞・広告関連は明確な縮小トレンド
 定期刊行物は少し持ち直し、ラベルは微増
 トータルでは減少傾向が続く

海外との競争やその他の課題

- ・東欧との競争が近年急激に増えている。ポーランドからの輸入は2008年より40倍に増えている。
- ・ノルウェーとスウェーデンが最大の輸出先で、全体の50%を占める。
- ・2016年度は輸出、輸入ともに約3.5億ユーロ(約455億円)で、ほぼバランスが取れている。
- ・PODが増加してきており、これが海外への仕事流出を減らす役割を担っている。
- ・Smithers Pira の予測では、デンマークの印刷市場は2016年から2021年に0.3%の成長が見込まれる。
- ・従来型のプリント需要は減少していくが、ラベル、やパッケージ分野は成長が続くと見込まれる。
- ・環境面での誤った認識が懸念事項。印刷と紙が大きな汚染源だとか、電子的なコミュニケーションにシフトしたほうが環境負荷が少ないという認識により宅配チラシなどが影響を受けている。

デンマークの印刷業界の将来 (それでもチャンスはある)

- ・印刷産業は紙に印刷するだけではない。コミュニケーション産業はまだ成長しており、その分野にかかわる印刷はまだ成長している。
- ・環境に関する疑問を我々の強みにしていく
印刷産業と製紙産業は、素材のサステナビリティ、再生エネルギー、リサイクリングの面では最も進んでいる。
2005年から2015年の間で欧州の森林はスイス1国に等しい面積が増えた。これは1日にサッカー場が1500個増えているのと同じ。
- ・プリントにはデジタルにない思い出を深く刻み付けるという特徴がある。

Stibo Printing Solutions

設立: 1794年(創業223年)
年商: 1.3億ユーロ(169億円 1ユーロ=130円)
従業員: 450名
主要製品: 商印分野
主要市場: スカンジナビア、ドイツ、英国



過去10年の業態変革

Stibo Graphic 2006 の年商 6000万ユーロ(78億円)

市場は縮小が続き、変化が求められていた

ディレクトリ 40%、カタログ 40%、定期刊行物 20%



Stibo Printing Solutions 2016の年商 1.3億ユーロ(169億円)

ディレクトリ 0%、カタログ 5%、小売り・定期刊行物・雑誌・POP・物流(95%)

少数の大口顧客から、多くの顧客に多くの製品提供へシフトしている途中

Stibo Printing Solutionsの10年間の変革

2007



- ✓ GraphX acquisition
- ✓ Sale – Directory 96 pp.
- ✓ Sale – Directory 48 pp.
- ✓ Investment in sheet-fed
- ✓ Investment in stitching
- ✓ Investment in 16 pp.
- ✓ Investment in 80 pp.
- ✓ Investment in 32 pp.
- ✓ Investment in perfect binding
- ✓ Datagraf reorganisation
- ✓ Sale of Stibo Zone

*Investment in
new capacity*

設備増強を中心に投資

2016



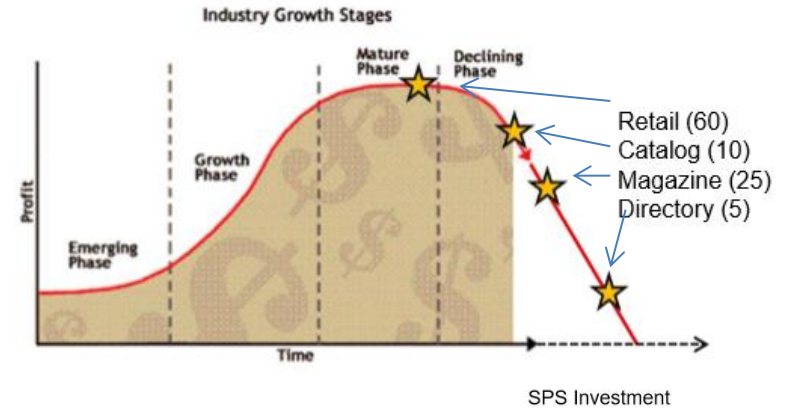
- ✓ Color Print A/S purchased
- ✓ Color Print AB 'purchased'
- ✓ Scanprint A/S purchased
- ✓ Egmont Outsourcing
- ✓ Distribution Plus
- ✓ Skånsk Repro→Stibo Media
- ✓ Greentech Rotaprint
- ✓ The big relocation project (CP/SG/SP/DP+)
- ✓ Sale of Datagraf to Aller Media
- ✓ Investment in LFP (POS)
- ✓ Acquisition of Sörmlands Grafiska
- ✓ Investment in LFP (POS)

*Investment in
Consolidation*

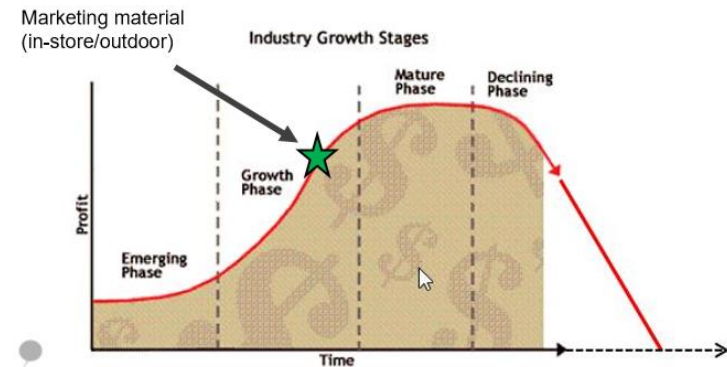
企業買収を
中心に投資

今日の課題

- ・大量ボリュームの市場の減少
- ・スキャンジナビア市場には買収すべき企業が見当たらない



- ・輪転中心の大量ボリュームビジネスから、新規分野への転換
- ・マーケティング ポータル、印刷通販、デザイン、写真、プリプレス、デジタル印刷、ラージフォーマット、枚葉オフセット、キャンペーン支援、倉庫、物流など



ご清聴ありがとうございました

Memo